

キャンディ・マウンテン (1987)

CANDY MOUNTAIN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 スイス／フランス／カナダ

色彩 Color

時間 91分

初公開日 1990/12/01

公開情報 ケイブルホーグ

【キャッチコピー】

もう一度、路上で会おう。

【解説】

バンド“ビッグ・トラブル”を解散してぶらぶらしているジュリアス（オコナー）は、元メンバーに貸したギターを取り返しに行くが返して貰えず、代わりに歌手キースのリハーサルで演奏するコネを得る。そして、ギター作りの名手エルモアを懐かしがるキースに彼を知っていると嘯き、彼を連れて帰る契約を取り交わす。仕度金二千ドルを手に恋人同乗で出かけた車ごと彼女はいなくなり（夢ばかりの彼の言動に愛想を尽かしたのだ）、ヒッチハイクでエルモアの弟アル（ウェイツ）を訪ねると、“金持ちの”彼は情報料におんぼろTバートを千ドルで売りつけ、兄は娘の所にいるーとその住所を渡した。そして向かった娘の家。彼女は車椅子の傷痍軍人の亭主（Dr・ジョン）と激しい喧嘩の真っ最中。これまたポンコツのワーゲンのワゴン車とTバートの交換で、エルモアの行先を聞き出したジュリアスは一路カナダへ。しかし、すぐに車がくたばって、立ち寄ったガレージのオーナーと更にバーターでシボレーのトラックを手に入れ、道を急いだ。カナダに入ったのはいいが、今度は飲酒運転で、つい判事親子の父の敷地を横切ってポートにぶつけ、二日間拘留の上、車まで巻き上げられる。なんとか辿り着いた最新の彼の滞在先、母の看病でフランスから戻ったコルネリア（オジェ）とは心うちとけ、ベッドも共にしたジュリアスだが、彼女に促されて出発。途中拾われた女性ドライバーにシカ狩りにつきあわされたりするが、いよいよ、エルモア製作のギターの転がる、彼の現在の工房を見つけ、当人（ユーリン）にも会えたのだが……。

友人好みのミュージシャンが多数ゲスト出演する、ビートニク直系の写真家フランクとライター、ワーリッツァの共同監督作。“いわゆる一つのロード・ムービー”にすぎない所もあるのだが、“自由は旅とは関係ない”と探し当てた放浪の男に言わしめる、ワーリッツァの哲学が反映され、ギリギリで“気分”に流されないですんでいる。

【クレジット】

監督	ロバート・フランク	Robert Frank
	ルディ・ワーリッツァー	Rudy Wurlitzer
脚本	ルディ・ワーリッツァー	Rudy Wurlitzer
撮影	ピオ・コラッディ	Pio Corradi
音楽	ハル・ウィルナー	Hal Willner
	デヴィッド・ヨハンセン	David Johansen
出演	ケヴィン・J・オコナー	Kevin J. O'Connor
	ハリス・ユーリン	Harris Yulin
	トム・ウェイツ	Tom Waits
	Dr・ジョン	
	J・ストラマー	

ビュル・オジエ	Bulle Ogier
ロバーツ・ブロッサム	Roberts Blossom
デヴィッド・ヨハンセン	David Johansen